

【注意事項】

R20TS1168JS0100

Rev.1.00

2025.09.05 号

e² studio スマート・コンフィグレータ プラグイン

RX スマート・コンフィグレータ

概要

タイトルに記載している製品の使用上の注意事項を連絡します。

1. リアルタイムクロックを使用する場合の注意事項
2. [クロック]タブを使用する場合の注意事項

1. リアルタイムクロックを使用する場合の注意事項

1.1 該当製品

e² studio 2021-07 (スマート・コンフィグレータ プラグイン V2.10.0 以降

RX スマート・コンフィグレータ V2.10.0 以降

1.2 該当デバイス

RX ファミリ RX671 グループ

1.3 内容

1.4 発生条件で指定された条件が満たされた場合に、R_Config_RTC_Create()関数に誤ったコードが生成されます。

1.4 発生条件

この問題は、以下の条件でスマート・コンフィグレータの設定を行うことで発生します。

- RX671 のプロジェクトを作成
- リアルタイムクロックコンポーネントを追加
- [クロック]タブで RTC クロックソースとして EXCIN を選択 (サブクロックは使用しない)
- コードを生成

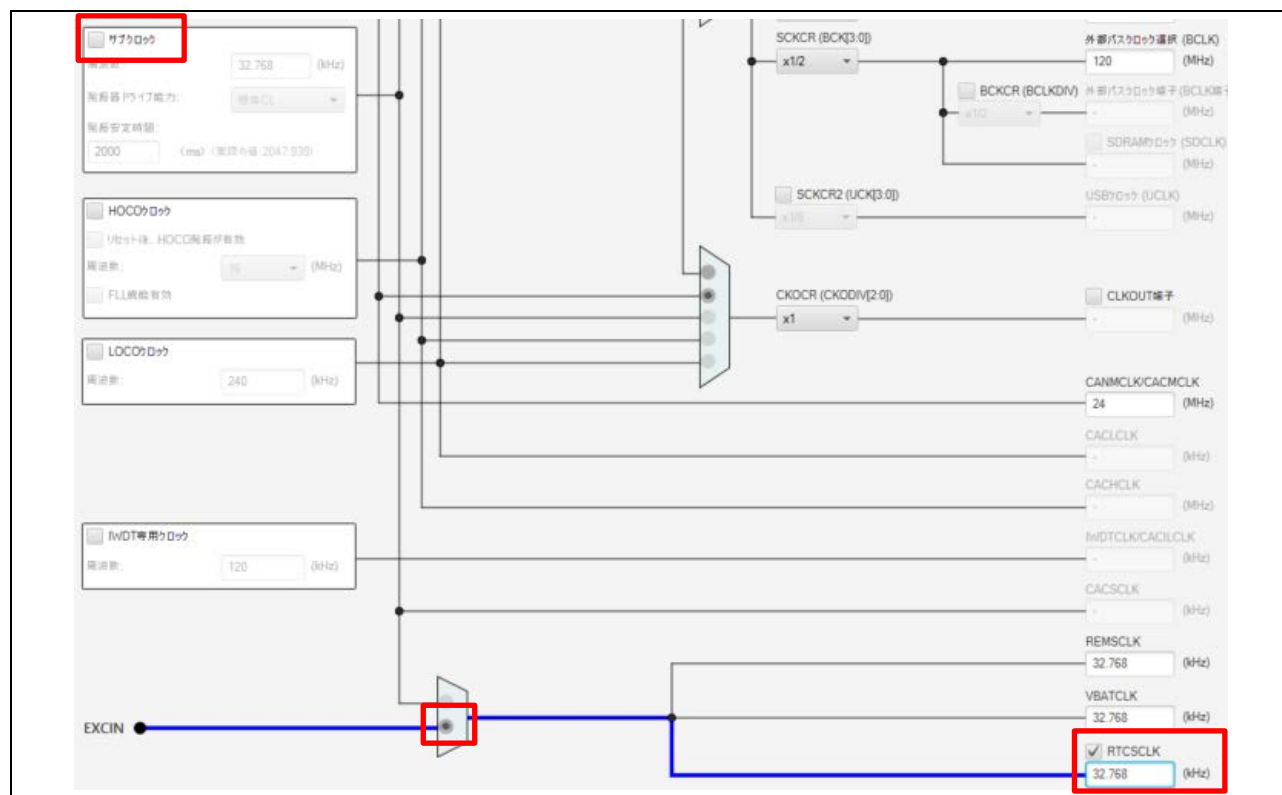


図 1 [クロック]タブの RTC クロックソースの設定

```

void R_Config_RTC_Create(void)
{
    uint16_t w_count;
    uint32_t rw_count;
    volatile uint32_t dummy;

    /* Disable ALM, PRD and CUP interrupts */
    IEN(RTC, ALM) = 0U;
    IEN(RTC, PRD) = 0U;

    if (RTC.RCR1.BIT.AIE == 1U)
    {
        /* Clear IR flag of ICU ALARM interrupt */
        IR(RTC, ALM) = 0U;
    }

    /* RTC cold start with sub-clock source */
    if(0 == SYSTEM.RSTSR1.BIT.CWSF)
    {
        /* Set RTC clock source */
        RTC.RCR4.BYTE = _00_RTC_SOURCE_SELECT_SUB;

        /* Set sub-clock oscillator */
        /* WAIT_LOOP */
        while (1U != RTC.RCR3.BIT.RTCEN)
        {
            RTC.RCR3.BIT.RTCEN = 1U;
        }

        /* Wait for 6 sub-clock cycles */
        /* WAIT_LOOP */
    }
}

```

図 2 誤った R_Config_RTC_Create()関数のコード

1.5 回避策

RTC クロックソースに EXCIN を使用する場合は、コード生成後に Config_RTC.c ファイル内の R_Config_RTC_Create()関数の RTCEN ビットを設定する待ちループを含むコードを図 3 のようにコメントアウトしてください。

```

/* Set RTC clock source */
RTC.RCR4.BYTE = _00_RTC_SOURCE_SELECT_SUB;

/* Start user code */
/* End user code */
/* Set sub-clock oscillator */
/* WAIT_LOOP */
while (1U != RTC.RCR3.BIT.RTCEN)
{
    RTC.RCR3.BIT.RTCEN = 1U;
}

/* Start user code */
/* End user code */
/* Wait for 6 sub-clock cycles */
/* WAIT_LOOP */
for (w_count = 0U; w_count < _112B_RTC_SUB_6_CYCLE_WAIT; w_count++)
{
    nop();
}

```

図 3 R_Config_RTC_Create()関数の修正方法

1.6 恒久対策

この問題は、2025 年 10 月にリリース予定の以下のバージョンで改修する予定です。

- e² studio 2025-10 (スマート・コンフィグレータ V2.27.0)
- RX スマート・コンフィグレータ V2.27.0

2. [クロック]タブを使用する場合の注意事項

2.1 該当製品

e² studio 2021-10 (スマート・コンフィグレータ プラグイン V2.11.0 以降

RX スマート・コンフィグレータ V2.11.0 以降

2.2 該当デバイス

RX ファミリ RX140, RX260, RX261 グループ

2.3 内容

2.4 発生条件で指定された条件下で、スマート・コンフィグレータのプロジェクトを開くと HOCO クロックの設定が変更される場合があります。

2.4 発生条件

この問題は、以下の手順でスマート・コンフィグレータを操作することで発生します。

- RX140, RX260 または RX261 のプロジェクトを作成
- [クロック]タブを表示
- HOCO クロックを使用する (チェックを付ける)
- HOCO クロックの周波数を変更
- 「リセット後、HOCO 発振が有効」を選択 (チェックを付ける)
- プロジェクトを保存して、プロジェクトを閉じる
- スマート・コンフィグレータのプロジェクトを開く

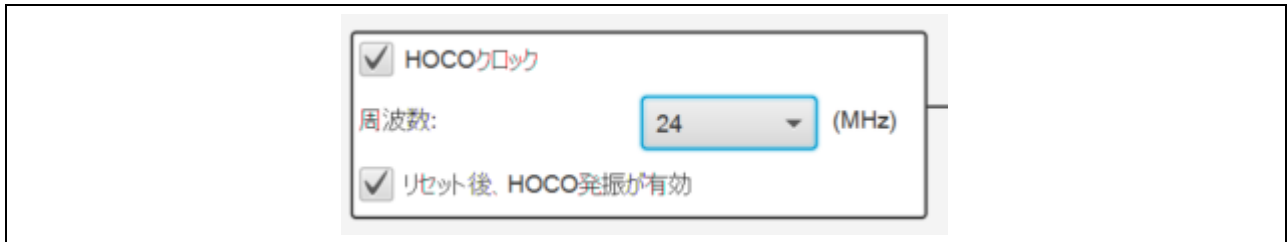


図 4 [クロック]タブの HOCO クロックの設定 (変更後)



図 5 [クロック]タブの HOCO クロックの設定 (プロジェクトを開いた後)

2.5 回避策

スマート・コンフィグレータのプロジェクトを開いた後で、HOCO クロックの周波数の設定を変更してください。

2.6 恒久対策

この問題は、2025 年 10 月にリリース予定の以下のバージョンで改修する予定です。

- e² studio 2025-10 (スマート・コンフィグレータ V2.27.0)
- RX スマート・コンフィグレータ V2.27.0

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Sep.05.25	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）
www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。
www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。